

## 第12回川崎市文化芸術振興会議部会会議録（摘録）

- 1 会議名 川崎市文化芸術振興会議部会
- 2 日時 平成24年2月22日（水）  
18時から20時15分まで
- 3 場所 政策研究大学院大学
- 4 出席者  
(1) 委員 澤井委員（部会長）、垣内委員、林委員  
(2) 事務局 市民・こども局市民文化室 広岡担当係長
- 5 議題  
平成23年度文化アセスメントの評価作成の進め方について
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴者 0名

### 【審議内容】

事務局 全部会員の出席により、会議が成立した旨を確認。澤井部会長に議長をお願いする。

議長 本日は、H23年度文化アセスの2事業について、それぞれ現地視察とヒアリングを終えているので、報告書の方向性を議論したい。

まずAグループの岡本太郎美術館について。

垣内委員 太郎生誕100周年の記念の年が終わるが、今後の美術館運営は岡本太郎一本で行くのか、それとも現代アート全般に対象を広げるのか。全国に美術館が約6,000館あり、美術館来館者全体で減少傾向にある。一方で、図書館の来館者は増加、劇場は横ばいという状況。美術館自体が飽和状態になっている。館の特徴を打出し、明確な方針を持って館の運営にあたっていく必要がある。

現代アートの客層は若い世代に偏っていて、社会全体で見ると必ずしも人気のあるジャンルとはいえないが、対象を絞りITによる情報発信を行う等、戦略的な発信を行なうべきと思う。

林委員 1995年に開館した東京都現代美術館も、絵画購入問題や予算凍結などで一時期館の運営に行き詰っていたが、日本テレビの氏家会長が館長に就任し、スタジオジブリ関連の企画を行なうことで集客力を回復させたという経過がある。アニメ関連企画は確かに集客力はあるが、それが美術館自体のファン層獲得につながるかははっきりしないところ。他に集客で注目を集めているのは、森美術館、原美術館、金沢21世紀美術館など。

現時点では、岡本太郎と直接交流のあった著名人が存命で、その人たちの発信力に負うところが大きい。そういった著名人がいなくなった先の運営まで考えておく必要がある。

議長 岡本太郎の記念館から、脱皮をすることか。

垣内委員 館に「岡本太郎」と名前がついているので、完全に岡本太郎から離れることはできない。館の個性も消えてしまう。そうではなくて、岡本太郎+ $\alpha$ で考えるべきだろう。岡本太郎の部分は、(財)岡本太郎記念現代芸術振興財団との連携を密に

取り、+αの部分をごどこまで拡大するかがポイント。TARO 賞の受賞者の作品を積極的に追いかけるとか、いずれにしても、岡本太郎のマルチタレント性を上手く活かしたい。TARO 賞の賞金はでているのか？

事務局 岡本太郎賞が 200 万円、岡本敏子賞 100 万円、特別賞が総額 50 万円となっている。

議長 レストランを充実させるとか、バリアフリープログラム、福祉事業との連携なども重要だ。

林委員 ワークショップ、教育プログラムなども充実させていきたい。学芸員が 5 名もいるので、上手く分担して欲しい。また、美術館の客層データや、来館者アンケート結果があれば聞きたい。

垣内委員 収集ポリシーや予算、収蔵庫の状況はどうなっているのか。

事務局 収集ポリシーは太郎ゆかりのもの、予算が約 200 万円。収蔵庫は立体収蔵庫が手狭で、長期計画では改修を予定している。

議長 岡本美術館についてはこのくらいにして、続いて B グループのガラス工芸振興事業に移りたい。

東京ガラス工芸研究所は、工場外の一角に立地し、教育機関の色合いが強かった。松尾所長の情熱には、感じさせられるものがあった。産業として考えた場合、クラスター化（市内ガラス工房などの集積化）することが必要であるが、現状ではそこまで難しいように感じた。まずは、常設展示場や作品販売所を設けることが先だろう。市民ミュージアムに作ることはできないかと思った。

林委員 全国的に見ると、成功している都市は、観光地+ガラス産業という組合せが多い。

垣内委員 滋賀県長浜市は街並みの保存（黒壁の街並み）と、ガラス工芸を上手く組み合わせ成功している。ガラス工芸のスタートは、地元の若手がヨーロッパのガラス工芸作品を仕入れるところから始まっており、そこに日本のガラス作家が集う形で進んできた経過がある。仕掛けが上手かった、ということだろう。

ほかにも石川県能登島はガラス工芸作品のコンペを行い、話題を集めており、受賞作品を行政が買い上げることもしている。ただいずれの取組みも相当予算をかけているので、川崎でそこまでやれるのかは疑問だ。

事務局 本市のガラス工芸振興事業は、約 700 万円程度の予算で動いている。

議長 折角の動きと、市内のガラス工房の広がりなので、引き続き継続してもらいたいと思う。経済局の施策に、文化性を加味できるか興味がある。文化室サイドからも後押しも必要だろう。

林委員 市民ミュージアムや、産業振興会館での作品展示等、やれることはありそう。

(会議終了)